

【第7回名古屋大学防災アカデミー】

災害文化をめぐって

—土石流を中心に—

笹本正治 信州大学人文学部教授



災害という特別な事件の前後に
人々が災害をどのように意識し
いかに対応したかを
検討することによって
その社会の特性や人と人との
結びつきを確認したり
災害を契機に
社会がいかに変化したかを
知ることにも大事だろう



お地蔵さんと石碑は幕末の土石流で約100人が死んだ際のもの(南木曾町)

平成16年12月8日(水)

17:30 ~ 19:00

環境総合館1階レクチャーホール

主催 名古屋大学災害対策室

